



これは繊細で残酷なおとぎ話

サマンサ・ラング第一回監督作品
ミランダ・オットー「ラブ・セレナーデ」 パメラ・レイブ「泉のセイレーン」「ハーモニー」

深い井戸のある家に住む、ふたりの女。
悪夢のようなひき逃げ事件がふたりのささやかな日常を狂わせていく。
荒涼としたオーストラリアの原野に、繊細なディテールが冴え渡る
現代に生きる大人のための残酷童話の傑作！

1997年オーストラリア/サザンスター=ザナドゥ・プロダクション作品/提供：アスミック・エース エンタテインメント、テレビ東京/配給：アスミック

ASMIK DD DIGITAL SR

The Well directed by Samantha Lang starring Pamela Rabe, Miranda Otto

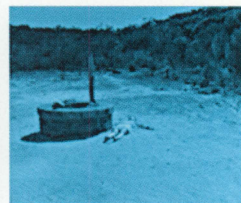
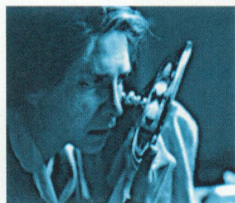
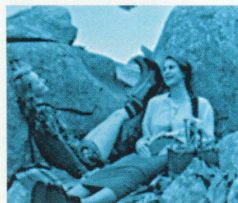
女と女と井戸の中

女と女と井戸の中 The Well



1997年オーストラリア/サザンスター=ザナドゥ・プロダクション作品/カラー/1時間42分/ヴィスタ/ドルビー・ステレオSR/提供:アズミック・エース、テレビ東京/配給:アズミック <http://asmik-ace.co.jp>

消えた大金、井戸の底に眠る男の死体、すべての秘密を飲み込む井戸。
そこは、彷徨うふたりの女を映し出す心理の万華鏡。



素晴らしい！ハイテンションで強烈な演技！秀作！

ドラマチックで見事な仕上がりに
すでに円熟した新たな才能の誕生！

サイコジカル・ゴシック！美しく映像化されている！

別世界、おとぎ話みたい！

愛、嫉妬、生殖力の挫折をイマジネーションたっぷりに描いている！

(ジャネット・マズリン/ニューヨーク・タイムズ紙)

(デイヴィッド・ストラットン/ヴァラエティ紙)

(デュエイン・バージ/ハリウッド・リポーター紙)

(ジョアン・デュボン/インターナショナル・ヘラルド・トリビューン紙)

(ナイジェル・アンドルース/フィナンシャル・タイムズ紙)

新星サマンサ・ラング監督、衝撃のデビュー作！！

1997年第50回カンヌ国際映画祭。話題作が出揃うコンペティション作品の中で、ひときわ異彩を放っていたのが本作『女と女と井戸の中』である。女性監督作品は過去にもわずしか選出されていないコンペティション部門において、31歳というこの年の最年少にして唯一の女性監督の作品であったことは、ジェーン・カンピオンの『ピアノ・レッスン』以来の快挙であった。原作者エリザベス・ジョリが描く深層心理の微妙なひだを、サマンサ・ラングは監督第一作ながら静謐と孤独を背景に見事に映像化。“スモール・ムーヴィーが一夜にして世界的注目作に！”(ヘラルド・トリビューン紙)、“こんなに素晴らしいオーストラリア出身監督のデビューはジェーン・カンピオン以来！”(ヴォーグ誌)と、大型新人監督の才能をカンヌに集まった世界の映画人が絶賛した。

井戸は心のどこかにつながっている

この世の果てとも思える荒涼としたオーストラリアの田舎を舞台に、主人公の女ふたりの間で錯綜する、あこがれと嫉妬、愛と裏切り、信頼と疑惑。加えて、原題であり、秘密を吐き出す「心の隠れ家」として陰鬱的に登場する“井戸”というモチーフと、ブリーチ・バイパスと呼ばれる技法を用いた印象に残る“青い”映像が、リアリティと狂気がないまぜとなった幻想的な世界を現出させている。サマンサ・ラングの、女性ならではの繊細なディテールと丹念な演出が、観る角度によって作品の解釈が幾通りにも変わりうる「心理の万華鏡」ともいえるストーリーを際立たせている。観客は最後までふたりの主人公、キャスリンとヘスターとの間で真実を見極めることにためらいを覚えずにはいられない。ラストまで一気に引き込まれてしまう圧倒的な訴求力と、ラストシーンに広がる穏やかな解放感によって一つの寓話に仕上げられた本作は、まさに現代に生きる大人のための残酷童話の傑作といえるだろう。

それはすでに、破綻の予兆をはらんでいた

長い間父親とふたり暮しのヘスターのもとに、家政婦として若い娘キャスリンがやってきた。はじめはかみ合わなかったふたりも、一緒に暮らすうちに親密な感情が生まれる。父親が死にヘスターが遺産を相続すると、ヘスターはキャスリンとの生活のためにお金を使うようになり、今までは考えられなかったぜいたくな、そして幸福感に満ちた生活を送るようになる。

ある夜、酔っ払って運転したキャスリンが、人通りのない道を男を轢いてしまった。性えるキャスリンに代わり、ヘスターは男の死体を庭の使われていない井戸に捨てる。悪夢のような一夜が明けると、隠しておいた大金が全て無くなってしまっていた。動揺するヘスターに、「井戸の中の男が盗んだ」と言い出すキャスリン。ふたりの言い争いは、やがて心に秘めていた確執をあらわにしていく。

外は嵐を前にして雨が降り続き、涸れていた井戸の水位は上昇し始める。彼は本当に生きているのか？消えた大金はどこにあるのか？夜が明けるころ、全てが明らかになる一。

サマンサ・ワールドを創り出す実力派キャスト&スタッフ

主演のヘスター役には本作でオーストラリア・アカデミー賞主演女優賞を獲得した『ハーモニー』(96)のパメラ・レイプ。もうひとりの主役キャスリンにはミランダ・オートー。『ラブ・セレナーデ』(95年カンヌ国際映画祭カメラドール受賞)の主演に続き、本作で国際的な評価を高めた。反発し共鳴しあふふたりの登場人物を説得力のある自然な演技で好演し、作品を真実味のあるドラマに仕上げている。

原作となるエリザベス・ジョリ氏の“THE WELL”は、発表されるやリドル・ストーリー(謎の物語)として話題となり数々の賞を受賞した。このベストセラー作品を興行きの深い心理ドラマに仕上げたのは、『ある貴婦人の肖像』(96年ヴェネチア映画祭正式出品、アカデミー賞2部門ノミネート)ほかカンピオン作品の脚本で世界的な評価の高いローラ・ジョーンズ。本作でオーストラリア・アカデミー賞脚色賞を受賞している。アンドリュー・ワイエスの風景画を思わせる郷愁感ただよう画面を作り出したのは『ラブ・セレナーデ』でオーストラリア映画批評家協会賞撮影賞にノミネートされた撮影マンディ・ウォーカー。そのほか本作で97年オーストラリア・アカデミー賞美術賞を受賞したプロダクション・デザインのマイケル・フィリップス、シューベルトやバッハのピアノ曲を効果的に使用し映画の雰囲気盛り上げた音楽スティヴン・レイなど、まさに現代オーストラリア映画界を代表する女性を中心としたメンバーが、サマンサ・ラングの監督デビューを支えている。

3月6日(土)より待望のロードショー! (上映終了日は劇場にお問い合わせ下さい)

前売鑑賞券絶賛発売中! 一般1,500円 (当日一般 1,800円の処)

※チケットぴあ、ローソン、主要プレイガイド他に発売中!
※劇場窓口でお求めの方にポストカードプレゼント(限定数)

梅田スカイビルタワーイースト4F 06(6440)5977

梅田 ガーデンシネマ

(土日祝0:20) 12:25 2:30 4:35 6:40 (入替制)

